令和6年度 農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農福連携型) 及び地域資源活用価値創出整備事業(農福連携型)

事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農福連携型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農福連携型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記5の第9の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した北陸農政局管内の7地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。 その結果、優良と認められる地区が5地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。 総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

3. 各地区の評価結果

フ件

農政局等 都道府県		古 町 松	事 光	宇	施主体	k b	事業実施段階						評価	評	価	コ	J	27	l.			
辰以川守	14 担 川 宗	1 1 円	尹 未	: 天 /	地 土 7	平 泊	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画	計	1Щ	1			<u>۱</u>	
北陸	新潟県	長岡市	特定非常	営利活!	動法人UI	NE				•*	•	•			A	取組について がいませい 取組を 変え いまま がいま かいま がいま は でき いっこ は でき も がい まま でき かい	酉会社へし ザサ、イラ で売上が	出荷する チョウの 目標値を	のみだっ 葉等を採 上回り、	たが、 取し、! 障害者	ヨモギ、 野草取扱 等の雇用	ドク 業者 ・就
北陸	富山県	富山市	社会福祉	业法人;	秀愛会					▶ ★ ★ ●	•	•			A	障事業に で事業にで でを でを を を を を を を を を を を を を を	3年目まっまた。 また、『 告効率が『 目標を上『 ることで	でに障害 章害者の 司るとと 交流人口	者等を 5 特性に応 ことに、地	名以上 いで個! こり餃子 也域のイ	の増加) / 別に支援る の卸し先 ^メ ベントに和	は達 をが増極

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8								評価	評 価 コ メ ン ト
反跃而守	和起州外	111 11 11		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	н іш	
北陸	富山県	上市町	いっぽいっぽ株式会社					• ★ ▶ ▲	•	\Diamond		С	水耕栽培施設の整備が、能登半島地震の影響等で遅れたことにより、売上高が目標値に至らなかった。また、主要な取組である食品加工技術の習得、マルシェ・収穫祭及びカフェでの交流が実施できなかった。このため、低調と評価とする。
北陸	福井県	あわら市	株式会社農楽里					•*	•			А	障害者が行う農作業、農産加工の安全性や生産性を向上させる作業マニュアルの作成、障害者の就労技能向上に繋がる実務研修の実施など障害者が農業で活躍する取組となっている。また、前年に整備した精米機を使用した精米の受託や精米の販売が順調に伸び売上高が目標を大きく上回った。このため、優良な評価とする。
北陸	富山県	氷見市	氷見ふるさとエネルギー株式 会社						● △	0		С	太陽光発電所に隣接する遊休農地を活用して無農薬野菜の栽培及び榊の栽培は専門家の指導の下、就労継続支援事業所と連携し取組まれている。しかし、当該農地は長年耕作されておらず、農作物が育つために必要な土壌の養分が不足し、計画した収穫量が得られず売上高が目標値を下回り、野菜の販売イベントでの交流人口も目標値を下回った。このため、低調な評価とする。
北陸	石川県	能登町	株式会社セイアグリーシステム						• *	0	$\Box \diamondsuit$	A	本事業で自動集卵機を導入したことにより、障害者の働きやすい環境となり、作業マニュアルを障害者の特性に合わせ作成することで障害者等の雇用の目標をしている。また、出荷対象外の卵の数が減ったことにより売上高も目標を上回っている。能登半島地震の影響で施設外就労の受入れが目標を下回ったが総合的に優良な評価とする。
北陸	福井県	福井市	特定非営利活動法人こころ						•	0 ☆	\Box \Diamond		取組について、椎茸上面栽培の技術指導を受けノウハウの蓄積を行い、障害者の技能向上を図っている。事業実績は障害者の雇用、就労共に目標を値を上回っており、優良な評価とする。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済) ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「北陸農政局農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:桑原 美香(福井県立大学経済学部教授)

委員:大西等(株式会社農協観光北陸エリアセンター北陸エリア長福井エリア長)

松本 正 (株式会社北日本新聞社 編集局 統合編集センター 専門委員)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

1 日 時: 令和7年7月28日(月) 14:00 ~ 16:30

2 場 所 : 金沢広坂合同庁舎 7階第1会議室 (オンライン形式による開催)

- 3 議事概要
 - ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
 - ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和6年度に事業を実施した7地区の取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、質疑応答を行った。 また、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。
 - ③ 令和6年度評価対象地区の評価案等について 令和6年度に事業を実施した7地区の評価案等に関して、了承を得た。
 - ④ 主な意見

C評価の地区について、天候不順やハード整備の遅れによるものであったり、能登半島地震を遠因とするものであったりすることから、事業者の責めに帰するものではないと考えられ評価が難しい。加えて、事業評価書に詳細な実施内容が記されていないものもあり、分かりにくい評価書があった。やむを得ない事情は理解できるが、事業の未達は本当にそれだけが原因であるのか現状が具体的に記されていないと判断できない。